

# 追波俱樂部

Manual  
XX XX



追波俱樂部本舖



追波倶楽部 MANUAL

昭和60年8月31日 発行

追波倶楽部 本舗

スタッフ/三鬼 亮佑

早瀬 紘樹

明治大学SF研究会 生田支部OB

追波倶楽部

Manual  
XX XX



追波倶楽部本舗

# 追波倶楽部 創刊

## という事態を招いて

かかる事態を招いてしまった直接の原因は三鬼氏がコピー機を買い込んでしまった事にあるのだけれども、同人誌活動を再開しようとする意志は、もうずっと以前から持っていたのです。平凡なサラリーマンとしての生活にも飽きてしまったし、でも、だからと言って今さら他の何者にもなれそうにない僕らにとって、充実感のある思い出を形に残してくれる「本作り」と云う作業は、とても大事なことになっておりました。

そして今ひとつ、当時はただ怠惰に日々を送っていただけなのに、今になってみると、まるで記憶の中の花火のように輝いている、あの追波荘を中心とした学園生活。

そこで僕らは「追波荘」をメインに据えた同人誌を作ることにしたのです。

就職、そして結婚と、それぞれが異なった道を歩き始めている今、かつての仲間たちと共有できる場を提供して栄光の追波軍団の結束を側面からサポートし、合わせて、僕らの趣味も満足させてしまおうと云うのが本誌の目的なのです。



# 追波倶楽部 本舗

三鬼亮佑  
早瀬絃樹

# 開運特別購読者募集

## 追波倶楽部

創刊を記念して、『開運特別購読者』

を募集いたします。

『開運特別購読者』になっていただいた方々には、下記の特典がございます。

★購読料（5回分/送料込）

~~¥2,250~~ →

**¥1,000**

ポッキリ

★『開運特別購読者』認定証（たいへん縁起が良い）

★ためになる性知識の数々…（電話サービス有）

さあ、今がチャンスです。この期を逃して、あとでしつこく購読を迫られても、もう誰も助けてはくれないのです。これも、ひとつの試験だと思って、黙って申し込みましょう。



## 購読申込書

会員番号	氏名	住所	
※		〒	
		番 ( )	-
ペンネーム(学生時代のもので結構)		職業(会社名)	所属
年齢	性別	血液型	生年月日
			昭和 年 月 日
			未・既婚(既婚の場合は配偶者名)

## 追波倶楽部 十戒

- ★必ず創作活動を行わなければならない  
文章の場合は原稿用紙を使用 10枚以内  
それ以上の場合は連載として何回かに分けること
- ★ジャンルは問わない  
小説以外でもエッセイ、パロディ、写真を組み込んだ  
ヴィジュアルなものでもよい  
—どちらかといえば、その方を希望する
- ★毎回、近況報告を送らなければならない
- ★年1回、購読料を納めなければならない  
—毎月でも拒まないけど……
- ★何人も大いに追波倶楽部の名を拡めなければならない
- ★何人も乱りに女の子に声をかけよう
- ★追波倶楽部は、タモリ倶楽部ではない
- ★1週間以内に購読者を集めなければならない  
—1ヵ月で、あなたは億万長者
- ★伝説の妖獣ホリタを忘れてはならない
- ★大事なこと、忘れていました。締切りは、追波倶楽部  
発行1ヵ月前です。  
—毎月に発行は9月から隔月ですので次の締切りは  
10月15日です

## 三鬼「われわれは豊田商事ではないからね」 早瀬「頭の中ではもう創刊なんてすか」

### 三鬼亮佑 VS 早瀬絃樹

○月X日、静岡市内の某所において、追波倶楽部本誌の最高スタッフによる緊急秘密編集会議がもたれた。

早瀬「やあ、待たせてしまって。ゴメンしてね。」

三鬼「忙しいところ、申し訳ない。どうですか。新しいペンネームの具合は。早瀬絃樹（はやせひろき）だっけ」

早瀬「まだ、じっくりとしませんね。時間をかけて体に馴れさせていきますよ」

三鬼「どうしても、わらべあきひとのイメージが強いですよ。あの人はすごく精力的に活動していましたし。印象に残っちゃいます」

早瀬「借しい人を失くしました」（笑）

三鬼「ところで、今日の編集会議の議題ですが」

早瀬「合宿まで、あと2週間だね」

三鬼「実は追波倶楽部が合宿で配本されると言う噂が流れているんですよ」

早瀬「そりゃ、とんでもないデマだね」

三鬼「そうですね。逆立ちしたって間に合う訳が無い」

早瀬「一体、どこから流れてきたんだろう」

三鬼「さあ、それは分からないけれど…きっと締切り日から計算しての希望的観測だと思います」

早瀬「原稿が集まってから、それをどうアレンジして、どんな本にするか考えるプロセスが一番楽しくて、どうしても時間がかかってしまう。仕事もあるし」

三鬼「版下作りと印刷だって時間がかかりまっせ。なんせ、総ワープロ印字、3色刷なんですから」

早瀬「だから、既に作品を寄稿してくれた人達も辛抱強く待ってほしい」

三鬼「9月なかばには創刊号が出るはずだけど、一体何部刷ったらいんだろう。一度に必要なだけ刷って、あとは増刷なしでいきたいんだ。多色刷は面倒で…」

早瀬「購読料も集めちゃおうと思う。先にお金貰っちゃっておけば、本を出さない訳にはいかないから、編集する者にとってもいい意味でのプレッシャーになると思う」

三鬼「我々は豊田商事ではないからね」（笑）

早瀬「読者を確保すると言う事は、イコール作家を確保すると言う事だよ。作品無くして同人誌は作り得ない」

三鬼「それじゃあ、さっそく募集要綱を作りますか」

早瀬「合宿に間に合うようにね」

三鬼「ところで早瀬さん、今の御気分は？」

早瀬「今夜はサイコーッ！」

…と云うように、いまいち盛り上りを欠きながらも、この日の編集会議は無事終了した。



暮帰れうてんだ閱見東杉息確つMそな  
しっば一おじい係ら京本筋認いSの当  
てて、人りやる者れを女にさでF去情情  
い通つものまよのて離史よれ辞C就報報  
るり杉関すい・証おれ共りまし任最が網局  
ら過本係し・合言りるにましし高注にの  
しぎは者、宿にま模辞すたて首目よ正  
いるものさしまよし様任と、い脳ざり確  
よ車う証らとでれたで後、また二れまか  
じを静言に断はばがあ直沼たこ人ですつ  
と見岡に某言粘「るち田某とがいと迅  
のてによもしるま某とに氏消が相た、速

り各と両任恭部議大のエル  
ま界し氏子国議学よルソ  
すへて共た女防長Sうネビ  
・の君にと史婦沼Fにンエ  
液臨M伝の人田研へコト  
紋しSえニ会啓究M書連  
がてFら人書基会S記邦  
拡きCれが記氏最F長最  
がたのま、局と高Cに高  
った実し突長生願一統首  
てけ力た如杉田問明く脳  
おに者、辞本支会治かチ

# 細筋具新聞

細筋具新聞社  
竹下けい  
15日発売  
隔月刊

## 相次ぎ巨星墮つ

沼田はどうする

をのと岡東折  
与動な県京しと  
えきり内にとで  
そがまにお結あ  
う各しいり、  
で界たる、  
すへ、こ杉沼この  
・大今と本氏意  
動とかはとおへ所日で、化ら  
向の、い伝目もえはかす二でも、  
が動既つえ見とつあら、年き、定  
注きにたらえい道の九、ぶす今例

### 合宿復活 二年ぶり

目も花いれ「追う様月、りにだ化  
さ出火何て白波?し二時にいにを  
れてをがい種軍ない日は決た雑叫波  
てお用起ま湖團ん「ま八定あ詰け軍  
いり意きす「初で五で月の同は団  
ま、しる、でめ、色で三た合様れ解  
すそよも今あて、沼、十模宿定な散  
・のうの年るの、し、場一様が例が以  
動とかはとおへ所日で、化ら  
向の、い伝目もえはかす二でも、  
が動既つえ見とつあら、年き、定  
注きにたらえい道の九、ぶす今例

れ復おも周者れいでよる元めて現生ののそ溜ま始の新つさ下  
て活りっ辺、るでい人主るい世田生姿のみしめ当聞つえ深追  
いは、てで特発すはま物要標るにの田を影、たしたあ時く波  
ま確増いはに言か何すへメにの現いの隠を人、こ場がるの潜画  
す定たる既ホも「とのン、でわい低し落間屋と所再、流行団  
的、とにンあとか、イバ細すれか谷統との史がへびあれし  
で細も身ダリ自な「ン「腕、てげ、けし道の明と地のの、解  
あ胞伝辺某、信るまタ、具ここん生て、伝影ら向上!中今散  
る具え整なまとんあび竹新のよが田い静子のかいへ、でやと  
と新ら理るたもじ合下聞事う再のたかの部に浮と細風そ共  
見聞れが人聞思や宿「某、をとび馳、に中分な上、胞化のに  
ら、て始物係わなまになの認し、あそへりにを陽具し各地



広告表示についての苦情、お問い合わせ等、お気軽にジャロへお電話ください。  
東京(03)54112811  
〒100 日本広告審査機構 (監修 J.A.B.)  
広告表示の目録掲載

しき下つたそ根「はこんきた「うると▼宿いくと間もな  
まださくのうをゆ、のど込き奴命うなそにうれい違つこ  
せまいり邪す止、後のんつは知とつの参事ぐうつとと  
んれ、魔れめ愚、に人で、らすて為加をれ言て自を  
て▼あをはてか、至間やてづするきにす忘も葉も分すなし人てのんて一い誰し▼  
も尚なすも目ななつはり、レがとまはるれ、に、がるとどで、な、人自のて合  
、たるうを人どて大な半「出、す、上な合惑み楽暇考れ楽みの合一覧も最宿  
当こ一も安白間とま入さ殺して大、多てい宿わんしがえはしんで宿人すのものに  
方の人、の心くはほだしいしバく抵そ少最よはさなめあていみなすものも大参  
は際のはでし、ざ、く、にスるごれのもう自れでるっはいな。はのも事と切加  
い反合無すて構く俺なそしタか手は勇重に分て楽かたいのさら出、ものでいなす  
対宿く。おい奴のりうて「らヤあ気要、一はしをらけてい飛つあのですところ  
さに、なもやまも目ます、でゴとなこ人いい考、ます。ひばあでは、こと時  
いドをりうんせいこのすれ下地す手た腕心ののけ合えとせ、自出つたもな合とはの  
関づ楽ま誰なんま黒、はプベ、ヤが力構事もま宿なうん他分して一あく宿を、心  
地にしすもさ、すいし、にたそと何がえがのせ、さし、人さて目入り、はし合構  
いたん、あい息、うかほたに「歯か心で、だんないたそのえ、立のまま他つ宿え  
たたでゆな、のそちしとたたゆ向や要す台と、ど、らん事案一つもせしのかかと

### 天和人和

# 見てくれ!

ニュースター満載の登場だ!!

いまその衝撃の 때가 近づいている。

始まりの予感を香りにのせて。

ありがとう、  
待っていてくれて。

# 追波倶楽部

## 特集

近親相姦一体験告白

どうしていけないの?こんなに  
気持ちよくなれるのに

# 創刊号

小社出版目録・申し込み書の請求は、  
営業部まで電話かお葉書で  
〒420 静岡市駒形通6-7-9  
柴田博之 氣付 追波倶楽部

